

平成26年度 第1号

男女共同参画室だより

「働くママもイクメンパパもつくばスタイル！」
平成25年度“愛ことば”優秀賞（学生の部）

平成26年6月20日発行

編集・発行：つくば市男女共同参画室

つくば、
ホンモノ！
TSUKUBA, HONMONO!仕事とくらしの幸せバランス@つくば実践事業所紹介
「家事場のパパチカラ」を応援しています！

今年度の男女共同参画週間（6月23日～29日）のキャッチフレーズは「家事場のパパチカラ」。そこで、今号では、父親のワーク・ライフ・バランスを積極的に支援している事業所として、つくば市松の里にある独立行政法人森林総合研究所（以下、森林総研）のユニークな取り組みをご紹介します。また、森林総研のイクメン職員に、育児休業を2回取得されたご経験についてお話を伺いました。

男性職員の多様な子育てを、所全体で見守り、支えています



▲お話をしてくださった鈴木理事（中央）と、男女共同参画室の宮本室長（右）、古澤前室長（左）

2年間で3名の男性職員が育児休業を取得！

ー森林総研の父親支援について教えてください。

当所では、2011年1月に「森林総合研究所男女共同参画宣言」を策定しました。研究現場で多様な人材が、存分に能力を発揮できるよう、職員のワークライフバランスの推進に取り組んでいます。男性の積極的な育児参加を奨励しているのもその一環で、次世代育成支援行動計画と第3次中期計画(2011年度～2015年度)の男女共同参画推進策において、男性職員の育児休業取得数の数値目標(期間内に3名以上)を掲げています。この数値目標については、既に2012年度に達成しました。

パパチカラ応援① イクメンリレーコラムを22回連載

ーリレーコラムを企画されたいきさつは？

所内の意識啓発には、先輩パパの職員が、ロールモデル(お手本)となって、子育ての経験談や、仕事との両立についての情報を共有することが大切だと考えました。当初は男性職員対象の意見交換会を企画したのですが、「男性が集まっても、話は盛り上がりがないよ」と指摘され、所内イントラネットで、リレーコラムの連載を2012年秋に始めました。

ー所内の反響はいかがでしたか？

執筆者を男女共同参画室で指名するのではなく、執筆者が次の方を紹介するリレー形式としたので、はじめは連載が続くか不安でしたが、所内限定とい

うこともあり、気軽に書いていただけたようです。連載が継続していくにつれ、多くの職員に読まれ、楽しまれている手応えを感じました。

また、森林総研は、つくばの本所のほかに、支所や育種場が全国に11カ所あります。また職種も大きく研究職、一般職に分かれています。そうした垣根を越えて、22人の職員にバトンが渡り、ほほえましい写真を添えて、それぞれの子育てを書き綴ってくれました。コラムは今春惜しまれながら終了しましたが、多様な子育ての形を所内全体で共有できたことは、とても良かったと思います。

パパチカラ応援② 上司向けガイドブックの発行と公表

ー「妊娠・育児中の部下がいる上司のためのガイドブック」を、今年3月に発行、公表されました。

上司と部下の双方で支援制度等の情報を共有しながら、コミュニケーションを十分にとっていただくためのツールとして発行しました。上司相当職に配布し、出勤簿の側に置いて、どなたでも手にとっていただけるようにしています。今後も研修の際にテキストとして活用するなどして、浸透を図っていきたくと考えています。

ー編集で工夫されたことはありますか？

制度の一覧、解説で終わってしまうのではなく、森林総研では所を挙げて、子育てと仕事の両立を支援しているというメッセージを冒頭に掲げました。男性の育児についても章を設け、「男性も育児休業をとる時代です」と明記しています。



冊子は下記のHPで、閲覧とダウンロードができます

イクメン職員インタビューは次ページで♪

独立行政法人 森林総合研究所
【男女共同参画室】

【所在地】つくば市松の里1

【職員数】586名(うち女性108名)

※森林農地整備センターを除く

【HP】<https://www.ffpri.affrc.go.jp/encr/>



森林総研 土壌資源研究室
橋本 昌司さん

香川県出身。2005年森林総研入所。
研究テーマは森林土壌の物質動態
シミュレーション。農学博士。
5歳と1歳の男の子を子育て中。

—2人のお子さんの誕生直後に、1ヶ月ずつ2回の育児休業を取得されたそうですね。その動機を教えてください。

両親が共働きで、妻もフルタイムで働いています。家事はもともと二人でという考えでした。

職場で身近に育休を取った先輩がいて、その様子から「休んでも何とかなる」と思えたことは大きかったです。森林総研が、男性の育休取得に取り組んでいることは伝わっていましたが、特段子どもが好きだったわけでも、妻に頼まれたわけでもなく、自然と育休を取ろうと決めていました。

—周囲の反応はいかがでしたか？

妻には助かったと言われました。特に第二子の時は、上の子を自分がしっかり見られて良かったです。職場では、育休を取りたいと上司に相談した時も「うん、わかった」という感じで、スムーズでした。研究の仕事は個人の裁量で進められる部分が多いですし、出張などで職場を離れることが多く、お互いに補い合える雰囲気もともとあるので助かりました。

—育休を取って良かったことは？

1回目の時は妻と、2回目の時は上の子としっかり向き合えたことですね。それで子育ての良いスタートが切れました。子どもの成長を目近に見て面白いのは、実はもう少し後なんですけどね。

—子育てで得たことがあれば教えてください。

将来のこと、未来のことを考えるようになりました。職場でも、人に伝える、教えるというような次世代育成について関心が向くようになったと思います。それから、子どもって当たり前のことを何でも聞いてきますよね。こちらはその度に、考えて言葉を選んで説明する。この繰り返しで、プレゼンの能力が磨かれたかもしれません。

—仕事と子育ての両立、苦労はありませんか？

実は子どもを溺愛してまして。研究も子育ても、突きつめると際限がないんです。以前は家に仕事を持ち帰らないようにしていましたが、最近は難しくなりました。時には休日でも、子どもが寝て時間ができたら仕事をすることもあります。すきま時間を活用していますが、仕事と子育てとのせめぎ合いには、常に悩んでいます。

—先輩パパとして、メッセージをお願いします。

育休を取れる環境は恵まれていると言われることもあるし、自分も後ろめたい気持ちになることがあります。でも、日本も北欧のパパクォータ制のように、父親が当たり前に育休を取れるようになれば、面白い社会になるんじゃないかなと思っています。子育ては本当に面白いし、ハマりますよ。もし育休が取れなくても、親子には日々の朝夕の時間が大事だし、それをしっかり楽しめたらいいですよ。



▲保育園の運動会で。かけっこでメダルをもらった長男を抱っこで祝福。

■miniキーワード■【パパクォータ制】父親に一定の育児休暇を取得するよう割り当てる制度（Papa Quota）。1993年にこの制度を導入したノルウェーでは、所得補償率100%で44週間の育児休暇が保障されており、その間、男性は最低6週間の休暇を取ることが義務付けられている。この制度により、男性の取得率は9割まで上昇した。

MINA・NO・MIX !

— 筑波山にあやかりミナノミクス —
【まちの男女共同参画ニュース】

男女共同参画推進において活躍する、市内の企業や団体のニュースをピックアップしてお伝えします。

5/23

モーハウス代表の光畑氏がAPEC女性と経済フォーラムでスピーチ



つくば市に本社を置く授乳服ブランド「モーハウス」の代表取締役光畑由佳氏が、5月21日から北京で開かれた「APEC（アジア太平洋経済協力会議）女性と経済フォーラム2014」において、日本代表の民間スピーカーとして登壇し、母乳育児を支援し、女性の活動領域を広げる授乳服の開発や、子連れ出勤の実践と発信について発表されました。フォーラムの全体テーマは「アジア太平洋地域の繁栄のための女性の力の結集」。子育て女性の活躍についての発表は、素晴らしい事例の1つとして、海外のダイバーシティ経営にも大きなヒントとなったのではないのでしょうか。

◀英語でのスピーチに臨んだ光畑氏。授乳服での授乳シーンや、子連れ出勤の様子を伝える写真に、感嘆の声と拍手が沸き起こったそうです。

男女共同参画室では、性別や年齢に関わりなく、地域や家庭で活躍し幸せに生きるためのヒントとなるような、様々なテーマの講座を開いています。今年度初回のセミナーの様をお伝えするとともに、今後開催予定の講座をご案内します。参加費・保育は無料ですのでお気軽にご参加ください（別途材料費が必要な講座があります）。詳細はつくば市HP、広報つくば、区会回覧等でも随時お知らせしています。

【講座の申し込み方法】

講座名、住所、氏名、電話番号、保育希望の有無（保育有りの講座のみ）を記入し、電話、FAX、はがき、または市ホームページ（男女セミナーで検索）からEメールにて。

▶申し込み・問い合わせ先は、ページ下部の ■編集・発行■ をご参照ください



ワーク・ライフ・バランス講座「しなやかな心をつくる、ハーブセラピー」



セミナー概要

◇日時 5/25(日)14:00～16:00

◇場所 つくば市役所会議室201

◇講師 沼田 聡氏

(ハーブデザイナー&コンサルタント)

◇参加者 19人

仕事や家事、育児などで疲れた心身をリフレッシュするセミナーとして、ハーブセラピーのワークショップを企画しました。講師に沼田氏をお招きし、ハーブに関する講義、美味しいいれ方の実演、オリジナルブレンドティを作るワークショップを行いました。の香りと共に、癒された一日でした。

＜参加者の感想から＞

- ・症状に応じたハーブの選び方と、呼吸法による本能的な選び方がわかり面白かった。
- ・気になっていたハーブの効果を知ることができ、とても良かったです。
- ・講師の方のお人柄がとても良く、ハーブ

▲ハーブティの美味しいいれ方を実演する沼田先生。ハーブの清々しい香りが会場いっぱいに広がりました。



家族の暮らし方講座「みんなでスッキリ！我が家のおかたづけ宣言」

お申し込みが定員に達したため、締め切りました



子育て応援講座「お母さんのための男の子からだ教室」

お申し込みが定員に達したため、締め切りました

家族の暮らし方講座「石窯で焼く夏野菜ピザ作りーパパ&キッズ歓迎♪ー」

◇日時 7/19(土)9:00～12:30

◇場所 六斗わくわく農園

◇対象 親子（お子さんは5歳以上）

◇講師 六斗わくわく農園スタッフの皆さん

◇定員 15組※先着順

◇材料費 大人1000円、子ども500円

生地をこねて石窯で焼く手作りピザに挑戦！
農園で収穫した夏野菜もトッピング、親子でおいしくいただきます。

農園スタッフがやさしく手ほどきしますので、普段あまり料理をしないパパでも大丈夫。野外料理で「家事場のパパチカラ」を磨くチャンスかも!?

夏休み初日、親子の思い出づくりもバッチリです。

石窯でサッと焼く、焼きたてピザの味は格別です。▶



■編集・発行■ 講座のお申し込み・お問い合わせはこちらです♪

つくば市市民部 男女共同参画室

〒305-8555 つくば市荻間2530番地2／つくば市研究学園1丁目1番地1(6月28日からの新表記)

TEL029-883-1111

FAX029-868-7586

第9回

愛

標語、川柳、キャッチフレーズ...形式は自由♪

こ

と

ぼ

募集中
～9/5

～学校や職場、家庭などあらゆる場所で、男の人も女の人も、お互いを大切にしながら
イキイキと輝いて生きるために、どんな“愛ことば”があるかと思いませんか～

“愛ことば” 募集要項

最優秀賞・優秀賞には
記念品(図書カード)を
差し上げます

- ①募集内容 20字以内の<愛ことば>
※小学生親子の部は保護者のコメント(100字程度)を添える。
- ②応募資格 どなたでも。作品は未発表の自作のものに限ります。一人何点でも応募可。
- ③応募期限 **平成26年9月5日(金) ※必着**
- ④募集部門 一般の部(高校生以上) / 学生の部(中学生以下)
小学生親子の部(小学生と保護者)
- ⑤応募方法 住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、ハガキ、FAX、ホームページから。
郵送またはFAXの場合は下欄の応募用紙をご利用ください。
- ⑥その他 12月6日(土)つくばカピオにて開催予定の「つくば男・女のつどい」に
おいて、応募作品の展示及び優秀作品の表彰式・記念品の贈呈を行います。
(記念品:最優秀賞1点=図書カード1万円、優秀賞5点=図書カード2千円)

問い合わせ・応募先

つくば市市民部男女共同参画室
〒305-8555 つくば市研究学園1丁目1番地1
TEL029-883-1111(代) FAX029-868-7586

ホームページは つくば市 愛ことば で検索。Eメールでご応募いただけます♪

きりとりせん

※FAXの方はそのまま送信してください 宛先:つくば市男女共同参画室 FAX:029-868-7586

愛ことば(20字以内。句読点や記号も1字に数えます)

保護者のコメント(小学生親子の部)

あてはまる部門名をまるで囲んでください。

応募部門 一般 ・ 学生 ・ 小学生親子

ふりがな 氏名 _____ 年齢 _____ 学校 _____

学生の方は学校名・学年を記入してください

住所 _____ 電話番号 _____